

3

奄美群島の観光の基本的な考え方

3 奄美群島の観光の基本的な考え方

本計画は「奄美群島成長戦略ビジョン 2033」で示された「奄美群島の将来像」について、観光を一つの手段として6つの方向性を定め、各種施策を実施することにより将来像の実現を目指します。

奄美群島の将来像 (奄美群島成長戦略ビジョン 2033)



若者がチャレンジし、夢を実現する島

- チャレンジする若者たちが参加するコミュニティが形成される
- 若者たちが奄美群島の産業の中心的担い手として活躍する
- 「若者の夢が実現する」島

宝を守り、受け継ぎ、世界の人々と共有する島

- 先人が守り受け継いできた宝を積極的に情報発信
- 国内外の人々が奄美群島の魅力に共感
- 将来にわたって保全すべき宝として世界の人々と共有

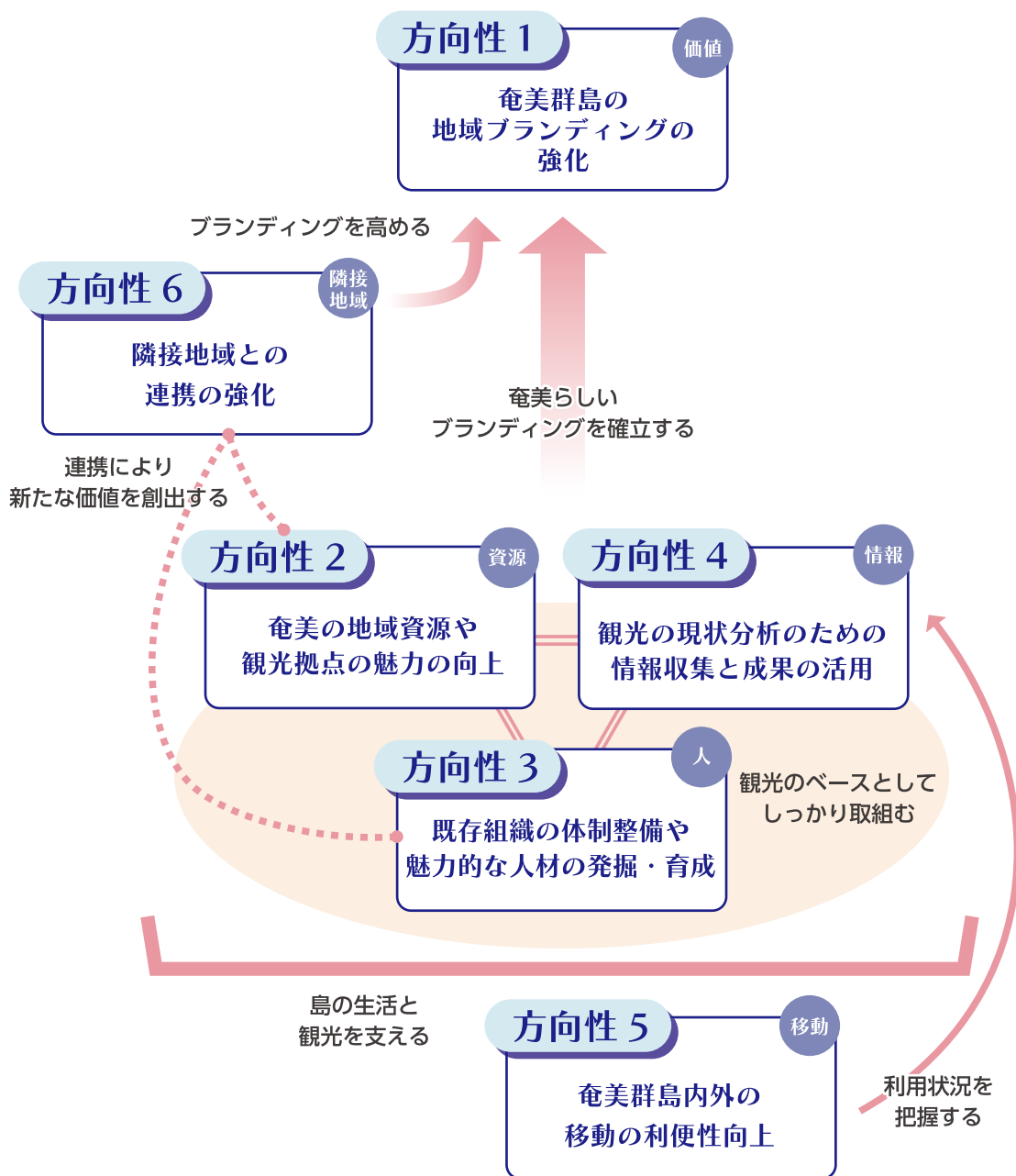
全ての「島ちゅ」が主人公として活躍する島

- 来訪者やUターン者、デジタル基盤を活用してつながる群島
 外出身者や事業者が奄美の価値を伝える担い手となる

島の生活と観光を支える移動の利便性を維持しながら、奄美群島の地域資源・拠点や地域の人材、取組のバックデータとなる統計データといった観光のベースとなる部分をしっかりと固め、奄美らしいブランディングの確立に展開します。

さらに隣接地域との連携を通じて新たな価値を創出し、ブランディングの強化へとつなげます。

観光の取組を通して奄美群島の将来像を実現 (方向性1～6)



方向性1 奄美群島の地域ブランディング^{※3}の強化

- [1-1 奄美群島の観光施策の方向性の設定]
- [1-2 観光資源の利活用の適正化]
- [1-3 観光産業と他産業との連携]
- [1-4 観光プログラムの開発]
- [1-5 情報発信]

島民の暮らしと観光のバランスに配慮しながら、社会状況の変化を的確に捉え、奄美群島の各島の個性を尊重したうえで観光まちづくりを推進します。

奄美群島全体で「奄美らしさ」を考え続ける中で、「奄美群島」の地域ブランディングを確立し、観光プログラムの造成や情報発信などを戦略的に展開します。



方向性2 奄美の地域資源や観光拠点の魅力の向上

- [2-1 地域資源の保全・活用]
- [2-2 観光拠点や関連施設の整備]
- [2-3 奄美らしい景観の保全・活用]

奄美群島の観光資源には自然環境や景勝地だけでなく、観光関連施設、歴史文化や集落行事など多様な地域資源が含まれます。空港やフェリーターミナルなどの交通拠点施設や宿泊施設等も、観光客にとって重要な場所となります。

これらの地域資源や観光客に重要な施設について、魅力や利便性を高めるための取組を進めます。



方向性3 既存組織の体制整備や魅力的な人材の発掘・育成

- [3-1 観光推進組織の体制の強化や観光の関係者との連携]
- [3-2 観光に携わる人材の育成や連携の強化]
- [3-3 観光産業の質の向上]

奄美群島全体で観光についての取組を着実に進めるため、(一社)奄美群島観光物産協会を中心に各島の観光推進組織の体制や人材育成を充実します。

観光産業の収益向上や従事者の雇用環境の改善を進め産業としての魅力を高めるとともに、島民全員で観光に関わりを持てる意識づくりに取組みます。



^{※3} マーケティング手法を用いて「名称としての地域 (=ブランド)」の魅力高め、それを「実態としての地域 (=製品)」に反映させることで、実態としての地域やその産出物に対する認識を変えたり、評価を高めること。

方向性4 観光の現状分析のための情報収集と成果の活用

既存調査を活用・発展しながら、観光の現状データやアンケートを奄美群島全体で統一的に調査し、奄美群島における観光の動向をより的確に把握して観光施策の検討に活用します。

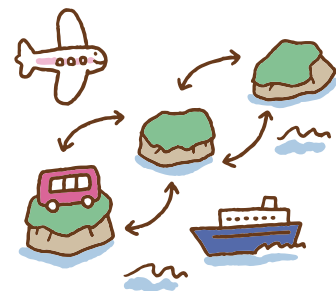
得られたデータは、各自治体や観光推進組織だけでなく、ホテル等の観光事業者が事業で活用できるように使いやすいシステムの構築や分析のためのサポートを行います。



方向性5 奄美群島内外の移動の利便性向上

奄美群島内外の交通手段を維持するため、一次交通である航空路線やフェリー航路の利便性を向上し、観光利用を促進することで利用者の確保につなげる取組を推進します。

島内においては、旅行者の二次交通、三次交通の移動手段であり、島民の生活にとっても欠かせない路線バス等の公共交通について、交通事業者と協力しながら利便性を高め、維持します。



方向性6 隣接地域との連携の強化

世界自然遺産に登録された屋久島や国内有数の人気を誇る沖縄といった魅力的な地域に囲まれた奄美群島の立地を生かします。

奄美群島と周辺地域の自然環境や歴史文化等のつながりを踏まえてストーリーを構築し、連携した観光施策を隣接地域と取組むことで、より付加価値の高い観光を展開します。



